

あいち農産物生産流通レポート

平成21年10月号

情報サロン	
・「ふるさと農林水産フェア2009」 ～いただきます！愛知の実り～ 11月開催 (食育推進課).....	1
地域トピックス	
・第31回愛知県果実品質改善共進会が開催されました (西三河農林水産事務所).....	2
東日本情報	
・愛知・静岡合同の露地いちじく品質査定会が開催されました (東京事務所).....	3
西日本情報	
・愛知県は、いいともあいち運動(地産地消)を推進しています (食育推進課).....	5
フラワーページ	
・環境に配慮したバラ栽培 (ベルバラ園 山田 勝).....	7
青 果	
・愛知産青果物の動向(名古屋・東京市場)	8
・名古屋・東京市場における青果物の10月の見通し	9
花 き	
・切花・鉢花の10月の見通し(県内市場)	21
輸出入	
・主要農産物の輸出入実績(2009年7月)	25
関連指数	26

内容についての問い合わせ先

愛知県東京事務所行政課農産物流通対策グループ

(03)-5492-5400

愛知県農林水産部食育推進課

(052)-954-6417

「ふるさと農林水産フェア2009」
～いただきます！愛知の実り～ 11月開催

県民の皆さんに愛知県の農林水産業や農山漁村の文化に触れ、食育や地産地消等について楽しく学んでいただくため、「ふるさと農林水産フェア2009」を開催します。

新鮮な農林水産物やふるさと商品の販売を始め、企画展示や食育体験、ミニステージ企画など、約180ブースが出展され、家族揃って楽しめる内容です。



昨年11月 ふるさと農林水産フェアの様子

1 開催日時

平成21年11月21日(土)～23日(月・祝) 各日とも午前10時から午後5時まで

2 会場

吹上ホール(名古屋市千種区吹上2丁目6番3号)

3 内容

県内の新鮮な農林水産物やふるさと商品の展示と販売

応援して欲しい！あいちのふるさと食品

「平成21年度愛知のふるさと食品コンテスト」に出品された食品を始め、

愛知県産農林水産物を使った「ふるさと食品」の展示紹介

食育体験工房での「豆腐づくり」「抹茶挽き」等の体験

「食育劇」「食まる体操」等のミニステージ企画

地産地消クイズラリー

4 入場料金(中学生以上) *小学生以下無料

前売 800円(500円相当のお買い物券付き)

当日 1,000円(500円相当のお買い物券付き)、600円(入場料のみ)

前売券は9月18日(金)から主要プレイガイド、チケットぴあ、主要コンビニエンスストア、中日新聞販売店などで販売開始

5 主催

ふるさと農林水産フェア実行委員会

(構成:愛知県、名古屋市、中日新聞社、東海テレビ放送)

6 問い合わせ先

愛知県農林水産部食育推進課 消費・食品表示グループ 電話052-954-6434(ダイヤル)

中日新聞社 社会事業部 電話052-221-0732(ダイヤル)

ホームページ <http://event.chunichi.co.jp/furusato/>

第31回愛知県果実品質改善共進会が開催されました

愛知県は果実の生産が盛んな地域ですが、特にぶどう・いちじくの2品目については、毎年夏の出荷時期に合わせて、生産技術の向上と消費拡大を目的に、愛知県、愛知県経済農業協同組合連合会及び愛知県果樹振興会の共催により、県域での共進会を開催しています。

今年は、8月19日(水)に「ぶどうの部」が愛知県西三河総合庁舎(岡崎市明大寺本町)で、9月2日(水)に「いちじくの部」が吉良町農村環境改善センター(吉良町小牧)で開催されました。

「ぶどうの部」には巨峰を中心に75点が、「いちじくの部」には梶井ドーフィンとサマーレッド合わせて273点が出品されました。いずれの部も流通関係者や県試験場職員らが審査員となり、農林水産大臣賞をはじめとした特別賞などを選出しました。また同時に一般消費者による審査も行われ、消費者特別賞などを選出しました。

今年は記録的な梅雨の長期化にみられるように、長雨・日照不足による病害発生や糖度などの果実品質低下などの影響が懸念されましたが、生産者のご努力により、例年と変わらない高品質な果実が多数出品されました。

出品された果実は審査終了後、消費宣伝会場(ぶどう:ジャスコ岡崎南店、いちじく:ジャスコワンダーシティ店)へ搬送され、地産地消のPRとともに即売会が実施されました。

主な受賞者

<ぶどうの部>

農林水産大臣賞 山口久子
生産局長賞 織田勝
東海農政局長賞 石田直人
愛知県知事賞 安藤美代子
消費者特別賞 安藤美代子

<いちじくの部>

農林水産大臣賞 近藤益彦
生産局長賞 神谷清
東海農政局長賞 榊原喜栄子
愛知県知事賞 本多鐵夫
消費者特別賞 竹内さえ美

写真 (ぶどうの部 審査風景)



写真 (いちじくの部 消費宣伝風景)



愛知・静岡合同の露地いちじく品質査定会が開催されました

平成 21 年 9 月 8 日に、大田市場において J A あいち経済連と J A 静岡経済連合同で行う初めての露地いちじく品質査定会が、京浜市場の卸売会社 11 社を始めとする各県産地 J A 担当者、生産者など 34 名の参加のもと開催されました。

始めに、市場を代表して東京千住青果（株）水野課長より、「8 月旧盆明けよりピークを迎えたが、天候に恵まれ品質のクレームがなく、食味も良い。今後の出荷増に期待している」と挨拶があり、J A 静岡経済連東京事務所山下次長からも、「いちじくの販売情勢は産地間競争もあり厳しくなっているが、静岡、愛知は隣県でもあり、お互いに協力できるところは協力していく意向もある。今後は洋菜類やいちごでも協力して査定会を行っていきたい」と挨拶がありました。

1 品質査定

サンプルの等階級は秀 L で統一され、愛知県内 6 産地、静岡県内 6 産地の他、和歌山、茨城、埼玉、福岡から各 1 産地の合計 16 産地のいちじくが揃いました。

調査項目は、パック重量、糖度（各パック任意の 1 玉を計測）、外観、食味で行われました。

査定を行った市場担当者より、「ケース内 4 パックのうち、重量が 400g/pk を切っているものが含まれている産地が愛知県内産地にある。量目不足は信用に関わるので無くして欲しい。糖度、玉揃い等は概ね良好。他県産の一部に過熟果や奇形、カビ果が含まれていた。いちじくは熟度が重要。難しいかもしれないが、あくまでも適熟でお願いしたい。万人向けの商材ではないので、リピーターを大切にするためには常に均一な内容にすることで価格がついてくると思う」と総括がありました。



品質査定会の様子

2 産地情勢（出席 J A 担当者から）

（ J A 大井川 ）

出荷の 4 割が終了。乾燥により小玉傾向なため、パック数が伸びない。夕方かん水を指導している。

（ J A 遠州夢咲 ）

小玉傾向でL・M中心。小さい割に果実が詰まっていて重いがボリューム感が少ない。まだ選別に個人差が大きい。

(J A 静岡市)

6割の出荷が終了。L・M中心。L玉は業務向け販売が上手くできている。現在出荷量が伸びなくなり、例年より早めに終了見込み。

(J A ひまわり)

玉流れはMよりのL中心で、前年より小玉傾向。サマーレッドは中段、榊井ドーフィン は中段からやや下段の収穫となっている。今後出荷が増加する見込み。

(J A あいち経済連)

J A 豊橋は、出荷順調だが、雨少なく小玉傾向。病虫害被害はない。県下全体として、9月末で概ね5割の出荷が終了となる。8月の小雨で樹が小さく、ストレスの影響もあり上段の玉伸びが心配される。夜温も低下しており、今後の大きなピークはない。

3 販売情勢 (市場担当者)

(愛知担当者)

盆明けの好天で品質は良好。顧客も数量が少ないと感じており、販売しやすいが反対に販路拡大に繋げにくい。現状のままであれば販売に問題はないが、天候の影響で数量が増えた時には販売が厳しくなる。

(静岡担当者)

和歌山は傷みで苦情が多く値崩れを起こした。静岡産は品質良いが入荷量少なく縮小した販売である。

4 質疑応答

- ・とよみつひめの市場評価について

愛知産と同じ顧客が購入している。果皮がしっかりしていて日持ちしそうだが、量販店に提案する入荷量が無いので、果専店で販売し様子見の状況。300g/pk(4玉)だが、他産地の400g/pk(5玉)とほぼ同じ単価で販売されている。今後福岡では、生産を増加すると聞いているので、量がまとまると顧客の乗り換えもあり得るのではないかと。

- ・福岡はパック内にマットが敷いてある産地があるがどうか。

小玉4玉が転がらないように使っているが、マットの有無で販売価格が上がるわけではないのでコスト増をどう考えるかだと思ふ。他にもマットが敷いてある産地もあるが、仲卸からは、下側にカビがあってもわからないので不安という声もある。



福岡産：とよみつひめ

初めての合同開催ということもあり、評価の基準や運営方法に改善の余地はあると思いますが、評価者である市場関係者やサンプル数も増え、利点は多いと思われれます。

参加した生産者からは、「他産地のものと比較できて大変参考になった。負けられないように良い物を作っていきたい」との感想もあり、今後、両県で切磋琢磨できる良い査定会になると感じられました。

愛知県は、いいともあいち運動（地産地消）を推進しています

愛知県では、農林水産業が果たしている役割を県民の方々に理解してもらい、積極的に応援していただきたいと考え、平成10年度から「いいともあいち運動」（愛知県版地産地消の取組）を推進しています。



県内の消費者と生産者が今まで以上に
“いい友”関係になる

イート モア アイチ プロダクツ
Eat More Aichi products

=もっと愛知県産品を食べよう(利用しよう)

11月はいいともあいちキャンペーン月間で
県産農林水産物を積極的に販売するスーパーやデ
パートなどの販売店や、愛知県産の食材を積極的に利
用する飲食店を「いいともあいち推進店」として登録
しています。

推進店では、愛知県産の生鮮食品、県産食材を使っ
た加工品の販売の他、地元の食材を使ったおいしいメ
ニューを提供しています。推進店といいともあいちネ
ットワーク会員により、毎年11月には、地産地消フ
ェアが県内各地で開催されます。愛知県産の生鮮食品はもちろん、愛知県産食
材を使った加工品の販売や地元の食材を使ったおいしいメニューの提供を予定
しています。



シンボルマークの
ついたのぼりが目印

いいともあいちのシンボルマークを目印に、是非お立ち寄りください。

平成21年3月31日現在、登録店舗数は649店舗（販売店552，飲食店97）あ
り、10月には新たに約42店舗の登録を予定しています。

「農商工連携ビジネスフェア」で県産農林水産物
の活用促進をめざします

来年1月に「農商工連携ビジネスフェア」を計画し
ています。昨年度は、平成21年1月21日、名古屋
銀行協会において、いいともあいちネットワーク会員
及び運動の賛同者を対象として、「農商工連携交流会」
を開催しました。生産者・食品会社・流通関係者等が
一堂に会し、参加者は184名、PR商品は75商品
と大変盛況でした。



フェアの会場にて、シンボルマー
ク貼付商品が話題の中心

この農商工連携交流会をきっかけとしてまとまった商談は10件あ
り、小麦・牛肉・豚肉・抹茶等を使った新商品が開発・販売されました。

県産農林水産物を使った商品にシンボルマークを貼付して運動をPR

県では、いいともあいち運動をもっと知っていただくために、昨年7月25日にシンボルマークの使用基準を改正しました。「私たちは、いいともあいち運動(地産地消)を推進(応援・支援)しています」等のメッセージを添えれば、出荷用の段ボール、商品の包装紙等へ使用できます。この改正により、各地のコンビニエンスストアやスーパーマーケットには、いいともあいちのシンボルマークを貼付した商品が並び、いいともあいち運動をより身近に感じていただけるようになりました。



Nホテルで開催されたイベントで、運動の取組紹介とともにシンボルマーク貼付20商品を紹介しました

社員食堂等における地産地消の推進

県内の社員食堂では、地産地消メニューの提供を行ったり、その日に使っている愛知県産の農林水産物を掲示する取組が始まっています。県内企業の熱心な取組とともに、卸売市場やJAの旬の食材情報提供や集荷協力もあり、社員食堂における地産地消の取組は少しずつ広がりを見せています。

この取組は昨年5月、経団連が会員企業に対し、工場などの社員食堂における地場産農産物の積極的利用を呼びかけたことを受け、県内企業においても地産地消に取り組む動きが広がり、経済界も巻き込んだ大きな運動となっています。



メニューの横にはシンボルマークがついた大小ののぼりや、愛知県産の食材を掲示しています

食博覧会・大阪でいいともあいち運動をPR

平成21年4月30日から5月10日まで、インテックス大阪(大阪国際見本市会場 南港)で開催された「食博覧会・大阪」に、いいともあいちネットワーク会員の13団体・会社とともに「09食博覧会・大阪出展愛知県実行委員会」を組織し、出展しました。会期中入場者数は65万人と目標の55万人を大幅に上回り、大盛況でした。愛知県はいいともあいち運動のシンボルマークを掲げ、「故郷にぎわい館」内ふるさと街道にて、愛知県産品のすばらしさをアピールしました。



「定番名古屋コーチン・八丁味噌!隠れた名産・銘品勢揃い!!!」をスローガンに愛知県産品をPR

愛知県は、今後とも、いいともあいちネットワーク会員と連携して、積極的にいいともあいち運動を推進していきます。

いいともあいち運動の詳しい情報は県ホームページ「いいともあいち情報広場」

(<http://www.pref.aichi.jp/shokuiku/iitomo/>) をご覧いただくか、下記へお問い合わせください。

問合せ先 農林水産部食育推進課 052-954-6434

環境に配慮したバラ栽培

1 きっかけ

私は、弥富市で、1,900㎡のガラス温室で約20品種のバラ切花を栽培しています。自分の育てたバラをより多くの人に身近に置いて楽しんでほしいと思うとともに、身近な花に化学農薬を使うことに疑問を感じ、化学農薬を使わない有機栽培でバラを生産してみたいと考えました。

2 取組について

(1) 有機栽培

バラ栽培をはじめた30年前から、堆肥、腐葉土、米糠、菜種かすのみを土に施して栽培してきました。これは、研修先の農園のやり方をそのまま真似た結果ですが、有機栽培でもバラは十分栽培できます。

(2) 化学農薬を使わない栽培

化学農薬を使わない栽培は、昨年末から実践中です。

今までも、バラの植物自体を健全に育てることに努め、病気が発生した花は捨てることを徹底し、他に、防虫ネットで施設外からの害虫の侵入を防ぐこと、黄色ランプの忌避効果を利用すること、施設内では粘着板を使って虫を捕殺すること等で、害虫の発生や被害を防ぎ、化学農薬の使用回数を徐々に減らしてきました。

最初は、病害虫防除がうまくいかず、かなりのバラを捨てましたが、粘り強く取組を続けるうち次第に病害虫の被害が減って、化学農薬を使用しなくても収穫ができるようになりました。

今では、オーガニックなバラとして、少しずつ新しい取引が増え、家族の理解・協力も得られるようになりました。

(3) 省エネルギー等新たな取組

重油高騰対策と、CO₂削減の両方を目的として、重油ボイラーに変えてヒートポンプを導入しています。また、生育促進を兼ねて、LEDランプによる補光を行っています。

3 環境に配慮した取組に対する認証

化学農薬を使わない有機栽培をすることにより、MPS（花き産業総合認証プログラム）ではAランク認証をうけています。また、愛知県知事よりエコファーマー（持続性の高い農業生産方式導入農家）として認定されています。



施設内の様子



スリーブに印刷されたマークとMPS認定証

4 新たな商品開発

バラを五感で楽しむ一つとしてバラのケーキを試作しています。

私の栽培する芳香性バラの中でも、ダマスクの香りのするバラの花弁をふんだんにスポンジにいれ、バラのジャムを挟んだスポンジケーキで、花が収穫出来る時のみの期間限定商品になる予定です。

化学農薬を使わない栽培は、まだ取り組み期間が短く不安な点もあるので、とにかく、現在の取り組みを継続していき、自分の栽培したバラをより多くの方に五感で楽しんでもらいたい、バラをもっと身近において楽しんでもらいたいです。



愛知産青果物の動向

青果物の見通し」及び「花きの見通し」ページにおいて使用する『変動の幅を表す用語』につきましては、下記の基準で記載しております。

わずか : ± 2 % 台以内
 や や : ± 3 ~ 5 % 台
 かなり : ± 6 ~ 15 % 台
 大 幅 : ± 1 6 % 以上

名古屋中央卸売市場（品目：次郎柿）

	入 荷 量 (t)		卸 売 価 格 (円/kg)		前年の主な他産地 (上位3産地)
		うち愛知産		うち愛知産	
20年実績	734	371 (51%)	170	205	愛知 (51%) 三重 (49%)
21年見通し	735	370	170	-	
入荷量及び卸売価格の概要と見通し			卸売市場から産地への要望・提言等		
<p>今年は春の気温が高く、早めの開花だったため生育は順調。7月下旬の日照不足による落果が一部見られ、病害虫の発生も報告されているため汚れや下級品は多くなる見込み。単価が安い三重の出荷が始まると単価が下がり、一度下がると上がらない。今月中旬から入荷量増える。入荷量、価格とも前年並みとなる見込み。</p>			<p>地元の出荷量が多く果物やし好品の消費額が減少し、また食べやすい種なし品種が好まれる傾向にある。 品種を決めて柿を買う顧客は少なく、PRの効果がある果物だが、現状は、岐阜の富有柿、和歌山の平核無に比べて、生産地のPRは小規模で、数も少ない。 栄養価が豊富な食品として顧客が固定化しているの、子どもにも食べてもらえるデザートメニュー開発も重要である。</p>		

東京都中央卸売市場（品目：次郎柿）

	入 荷 量 (t)		卸 売 価 格 (円/kg)		前年の主な他産地 (上位3産地)
		うち愛知産		うち愛知産	
20年実績	861	751 (87%)	210	202	静岡 (10%) 岐阜 (1%)
21年見通し	850	-	220	-	
入荷量及び卸売価格の概要と見通し			卸売市場から産地への要望・提言等		
<p>愛知中心に静岡などから入荷する。昨年は表年であったが、病害虫の影響で計画より出荷量が少ないうえ下位等級が多かった。本年も病害虫の影響は懸念されるものの、現状の生育は概ね順調で、10月中旬から出荷される。入荷量は前年並みで、価格は前年をやや上回ると見込み。</p>			<p>果実全般に販売が苦戦している現状で、品目・品種にかかわらず、いかに「柿」を消費者に選択してもらえるかを考えると、しっかりと選果されていることは前提条件である。確実な選果を行い、安定的な出荷に努めてほしい。</p>		

名古屋・東京市場における青果物の10月の見通し

名古屋市中央卸売市場

9月15日現在

単位：入荷量 = トン、卸売価格 = 円 / kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
野菜	16年	39,890	236	202	238	266	北海道 43%
	17年	42,194	175	183	167	176	長野 17%
	18年	42,693	173	193	175	156	群馬 7%
	19年	41,928	194	195	191	195	茨城 7%
	20年	41,495	185	202	186	170	
	計	5カ年平均	41,640	193	-	-	-
21年見通し	40,500	197	-	-	-		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し			<p>数量 前年数量 本年数量 前年単価 本年単価 単価 円/Kg</p>				
産地は高冷地、北海道から関東産に移行する品目が出始める。夏の天候不良、日照不足から生育は不作傾向、入荷は不安定で、小玉傾向。 入荷量は前年をわずかに下回り、価格は前年をかなり上回る見込み。							
だい	16年	2,922	179	150	174	214	北海道 42%
	17年	3,414	80	89	70	85	青森 36%
	18年	3,354	58	64	57	55	愛知 6%
	19年	2,925	99	120	92	87	群馬 4%
	20年	3,084	91	138	74	66	
	計	5カ年平均	3,140	99	110	91	99
21年見通し	3,000	90	100	90	80		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し			<p>数量 単価 円/Kg</p>				
産地は北海道、青森中心で後半愛知、新潟が出てくる。天候もよく生育も回復の見込みで、安定した入荷が見込まれる。涼しくなって販売環境もよくなる。長雨による遅れ分も上旬からは出てくる見込み。 入荷量は前年をわずかに下回り、価格は前年並みとなる見込み。							
に	16年	3,776	120	78	110	169	北海道 94%
	17年	3,631	86	90	86	84	青森 5%
	18年	3,294	129	164	141	90	中国 1%
	19年	3,335	111	104	109	119	埼玉 0%
	20年	3,418	108	117	109	98	
	計	5カ年平均	3,491	111	109	110	113
21年見通し	3,300	130	140	130	120		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し			<p>数量 単価 円/Kg</p>				
産地は北海道が中心で、一部青森。作況は前月に引き続き、長雨、日照不足の影響を受け、肥大少ないため不作が予想される。入荷は不安定で少なめ。 入荷量は前年をやや下回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。							

東京都中央卸売市場

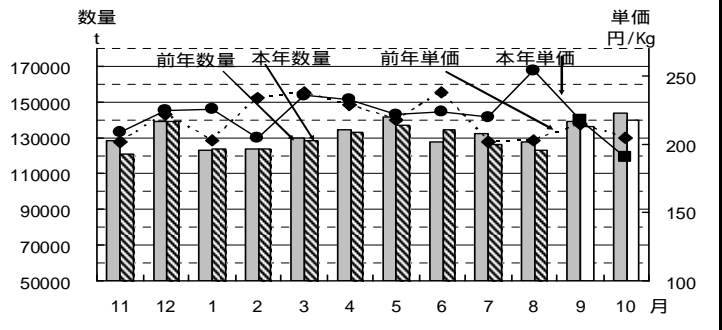
9月22日現在

単位：入荷量 = トン、卸売価格 = 円 / kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
野菜	16年	125,516	272	230	279	307	北海道 28%
	17年	136,513	190	201	179	191	茨城 14%
	18年	138,437	189	211	195	166	長野 10%
	19年	140,172	219	227	215	216	千葉 10%
	20年	143,711	205	220	220	205	(愛知産比率 3%)
計	5カ年平均	136,870	215	-	-	-	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	21年見通し	140,000	191	-	-	-	

**産地状況と
入荷量及び卸売価格の概況見通し**

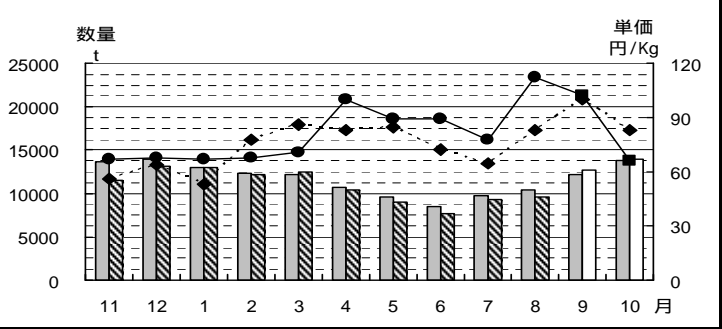
北海道、東北からの入荷が減少し、関東産地からの入荷が本格化する。各産地とも9月の好天で生育は回復したが、朝晩の冷え込みが強く、果菜類を中心に出荷遅れもみられる。
入荷量はわずかに下回り、価格は前年をかなり下回る見込み。



だい こ	16年	10,135	167	143	175	183	北海道 36%
	17年	12,384	72	81	64	73	青森 28%
	18年	12,727	54	60	56	46	千葉 21%
	19年	12,916	93	115	87	78	岩手 6%
	20年	13,795	83	131	68	53	(愛知産比率 -%)
ん	5カ年平均	12,391	91	105	86	82	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	21年見通し	14,000	66	70	65	62	

**産地状況と
入荷量及び卸売価格の概況見通し**

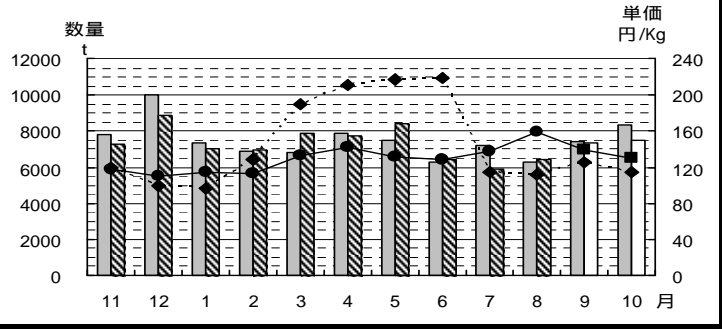
東北、北海道が終盤を迎え、関東産地からの入荷が始まる。北海道は7月の降雨によるまき直しで中旬までやや多い。青森も播種時の天候不順で生育が遅れており中旬から本格化する。千葉の生育は順調。全体の入荷量は前年並みで、価格は前年を大幅に下回る見込み。



に ん じ ん	16年	8,246	123	83	115	172	北海道 91%
	17年	8,253	87	101	83	79	青森 6%
	18年	7,475	132	161	148	96	中国 1%
	19年	8,357	116	114	114	120	千葉 1%
	20年	8,326	114	121	119	104	(愛知産比率 0%)
ん	5カ年平均	8,131	114	115	115	115	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	21年見通し	7,500	130	130	130	130	

**産地状況と
入荷量及び卸売価格の概況見通し**

北海道中心の入荷となる。北海道は7月の天候不順で播種作業が進まず、また低温の影響で肥大が悪く小玉傾向の見込みである。
入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年をかなり上回る見込み。



名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量 = トン、卸売価格 = 円 / kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ほう き さい	16年	4,129	129	79	128	185	長野 87%
	17年	4,592	69	71	56	83	北海道 8%
	18年	4,803	59	74	54	50	茨城 4%
	19年	4,804	85	81	89	86	
	20年	4,185	82	111	75	64	
5カ年平均	4,503	84	83	79	92	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
21年見通し	4,200	80	80	80			
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地は長野を中心に、後半から北関東産地、茨城などが顔を出す。夏野菜は一部北海道で長野が主体、茨城は順調な生育で早めの出回りが予想される。 入荷量は前年並みで、価格は前年をわずかに下回る見込み。</p>					
キャ ベ ツ	16年	3,537	150	92	136	220	群馬 49%
	17年	3,814	64	67	58	67	茨城 19%
	18年	4,344	83	109	78	67	長野 15%
	19年	4,743	80	79	76	85	北海道 11%
	20年	4,603	74	81	71	71	
5カ年平均	4,208	88	86	82	98	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
21年見通し	4,400	85	85	85			
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地はまだ高冷地中心だが、のちに平坦地へ移行。群馬の作柄は回復して平年並みの出荷。茨城、愛知は初期生育遅れ気味で出荷も遅れる見込み。 入荷量は前年をやや下回り、価格は安かった前年をかなり上回る見込み。</p>					
ほう れ ん そ う	16年	212	993	858	1,120	1,051	愛知 48%
	17年	398	575	611	542	583	岐阜 37%
	18年	493	388	459	484	285	北海道 4%
	19年	370	617	766	618	516	長野 4%
	20年	360	552	920	533	407	
5カ年平均	367	577	691	607	509	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
21年見通し	360	600	700	600	500		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地は岐阜中心で愛知が出始める。上中旬まで岐阜から安定して出荷、下旬にかけ徐々に減少。中旬から愛知が出る。植付け時の干ばつの影響で出足は遅く、急激に増えるのは翌月になる。 入荷量は前年並みで、価格は前年をかなり上回る見込み。</p>					

東京都中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ほうき	16年	11,942	113	70	113	長野 64%	
	17年	13,463	51	59	43	茨城 21%	
	18年	13,940	46	66	45	北海道 9%	
	19年	13,000	76	81	82	群馬 5%	
	20年	13,022	70	107	67	(愛知産比率 0%)	
	5ヵ年平均	13,073	70	76	69	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
21年見通し		12,500	75	90	70	60	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>長野及び茨城からの入荷が増えてくる。長野は9月中旬の降雨で回復傾向にあるが、例年に比べて小玉傾向となっている。茨城は生育順調で平年並み。入荷量はやや下回り、価格は高かった前年をかなり上回る見込み。</p>					
		<p>数量 (t) と 単価 (円/kg) の推移グラフ。数量は棒グラフ、単価は折線グラフで示されています。</p>					
キャベツ	16年	13,088	134	86	123	196	群馬 51%
	17年	14,503	57	63	53	56	千葉 19%
	18年	14,804	76	106	73	56	茨城 11%
	19年	15,175	75	76	74	76	岩手 8%
	20年	15,337	69	80	65	62	(愛知産比率 0%)
	5ヵ年平均	14,581	81	82	77	87	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
21年見通し		15,000	73	80	70	70	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>北海道、東北産が減少し、関東産地中心の入荷となる。群馬は終盤を迎えるが、低温で小玉傾向にある。千葉は干ばつの影響で定植が遅れぎみであるが平年並みの予想。入荷量は前年をわずかに下回り、価格は前年をやや上回る見込み。</p>					
		<p>数量 (t) と 単価 (円/kg) の推移グラフ。数量は棒グラフ、単価は折線グラフで示されています。</p>					
ほうれんそう	16年	1,156	878	757	937	975	群馬 34%
	17年	1,938	458	516	442	435	茨城 16%
	18年	1,854	407	403	507	333	栃木 14%
	19年	1,706	534	612	538	471	岩手 12%
	20年	1,792	464	731	419	345	(愛知産比率 0%)
	5ヵ年平均	1,689	521	589	539	475	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
21年見通し		1,800	470	480	470	450	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>関東産地と岩手からの入荷となる。群馬は平年並みの生育である。栃木は天候回復により平年並みの生育になりつつある。岩手は冷え込み等の影響により入荷がやや減少する見込み。入荷量は前年並みで、価格も平年並みの見込み。</p>					
		<p>数量 (t) と 単価 (円/kg) の推移グラフ。数量は棒グラフ、単価は折線グラフで示されています。</p>					

名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量 = トン、卸売価格 = 円 / kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ね	16年	1,263	381	384	370	389	北海道 39%
	17年	1,322	290	328	263	288	富山 15%
	18年	1,202	333	380	337	294	愛知 8%
	19年	1,395	399	457	377	373	長野 6%
	20年	1,423	325	378	309	289	
	5カ年平均	1,321	346	386	331	327	
ぎ	21年見通し	1,350	350	350	350	350	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し			<p>長雨の影響を受けた北海道、東北はその後回復傾向にあり、順調な出荷見込み。長野、富山も順調。愛知の長ねぎが作況悪く数量少ないため例年より単価上がる見込み。</p> <p>入荷量は前年をやや下回り、価格は前年をかなり上回る見込み。</p>				
し た ス	16年	1,267	404	229	515	559	茨城 52%
	17年	2,149	151	131	137	184	長野 44%
	18年	2,333	121	135	124	107	兵庫 4%
	19年	2,050	182	224	174	155	愛知 1%
	20年	1,870	179	240	174	137	
	5カ年平均	1,934	189	186	198	199	
ス	21年見通し	1,900	150	160	160	130	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し			<p>産地は長野主体から関東、茨城に入れ替わる。茨城は天候に恵まれ定植、生育ともに順調。後半には兵庫が出てくる。</p> <p>入荷量は前年並みで、価格は前年を大幅に下回る見込み。</p>				
き ゆ う り	16年	1,277	528	426	602	568	群馬 41%
	17年	1,517	298	230	254	433	埼玉 20%
	18年	2,316	221	166	233	276	山梨 11%
	19年	1,536	308	292	293	342	長野 10%
	20年	1,454	317	391	275	294	
	5カ年平均	1,620	318	283	314	367	
り	21年見通し	1,500	300	270	300	330	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し			<p>産地は長野中心から、群馬、埼玉、山梨等関東中心へ。生育は順調で、平年並みの入荷を見こむ。</p> <p>入荷量は前年をやや上回り、価格は前年をやや下回る見込み。</p>				

東京都中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ねぎ	16年	5,692	323	393	313	277	青森 26%
	17年	5,957	209	251	206	184	秋田 15%
	18年	5,269	241	273	257	202	北海道 11%
	19年	5,761	314	403	274	270	茨城 11%
	20年	6,254	232	314	209	180	(愛知産比率 -%)
	5カ年平均	5,787	263	327	251	222	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
21年見通し	5,900	210	220	210	200		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>青森、北海道に加え、関東産地からの入荷が増加。青森、秋田は9月の天候回復で概ね順調となっており、中旬以降本格化する。北海道は天候不順による生育遅れから回復し平年並みの見込み。入荷量は多かった前年をやや下回り、価格は安かった前年をかなり下回る見込み。</p>					
しそ	16年	5,863	368	201	452	507	茨城 57%
	17年	8,410	130	116	110	162	長野 28%
	18年	8,681	106	114	113	91	栃木 6%
	19年	8,726	158	189	155	133	群馬 5%
	20年	8,409	161	212	158	123	(愛知産比率 0%)
	5カ年平均	8,018	172	164	181	183	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
21年見通し	8,700	110	110	110	110		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>茨城、長野からの入荷が中心となる。茨城は台風等もなく生育、肥大とも順調である。長野は少雨、低温の影響により一部の品種で結球が悪いが、全体としては順調である。栃木も順調な生育。入荷量は前年をやや上回り、価格は前年を大幅に下回る見込み。</p>					
きゅうり	16年	4,879	478	507	486	444	埼玉 33%
	17年	5,852	283	217	243	411	群馬 19%
	18年	6,714	182	181	211	154	茨城 15%
	19年	6,245	278	260	269	308	福島 10%
	20年	6,485	290	351	251	264	(愛知産比率 -%)
	5カ年平均	6,035	293	294	282	306	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
21年見通し	6,400	185	180	190	190		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>関東産地中心の入荷となる。埼玉の生育は概ね順調である。群馬は8月の曇雨天で徒長ぎみであるが、回復傾向にある。福島は冷え込みも強く出荷量は少なくなっている。入荷量は前年並みで、価格は前年を大幅に下回る見込み。</p>					

名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量 = トン、卸売価格 = 円 / kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%) (愛知産比率)		
			上旬	中旬	下旬			
な	16年	494	467	391	488	534	愛知 33%	
	17年	834	236	237	210	277	熊本 21%	
	18年	783	266	294	267	245	山梨 18%	
	19年	744	279	282	264	294	徳島 13%	
	20年	736	269	326	256	235		
	5カ年平均	718	290	298	281	300		
す	21年見通し	740	270	270	270	270	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し			数量 1600 t			単価 円/Kg 500
		産地は、愛知の千両、長なすの熊本、夏 秋なすは天候不順で着果、木の勢いが悪 い。抑成ものは若干、出荷が出遅れており 量は少なめ。 入荷量、価格ともに前年並みとなる見込 み。						
ト マ ト	16年	1,045	435	368	400	598	岐阜 35%	
	17年	1,194	366	484	323	329	愛知 16%	
	18年	1,264	375	504	345	303	千葉 14%	
	19年	1,003	448	382	451	552	茨城 8%	
	20年	1,108	387	464	417	311		
	5カ年平均	1,123	400	445	384	410		
ト	21年見通し	1,100	380	400	400	350	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し			数量 2500 t			単価 円/Kg 500
		夏秋ものの岐阜に加え、抑成ものは茨 城、関東ものの出荷が始まる。作況は、8 月の天候不良やその後の冷え込みで色つき 悪く、あまり数量増えない見込み。 入荷量、価格ともに前年並みとなる見込 み。						
ミ ニ ト マ ト	16年	207	818	804	837	808	北海道 54%	
	17年	244	686	705	693	660	愛知 26%	
	18年	245	849	1,045	926	627	熊本 9%	
	19年	261	771	709	775	841		
	20年	283	649	672	751	527		
	5カ年平均	248	750	782	794	686		
ト	21年見通し	260	700	700	700	700	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し			数量 600 t			単価 円/Kg 1000
		夏秋ものの生産末期の北海道から地元愛知 など西の産地へ切り替わる。一時期暑かつ たがその後は天候もよく、順調。 入荷量は前年をかなり下回り、価格は前 年をかなり上回る見込み。						

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
な す	16年	2,792	421	297	493	488	栃木 24%
	17年	4,050	239	269	211	248	高知 24%
	18年	3,679	286	298	305	260	茨城 16%
	19年	3,749	308	359	294	274	群馬 16%
	20年	4,107	247	348	215	197	(愛知産比率 -%)
	5ヵ年平均	3,675	292	315	290	281	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	21年見通し	4,000	225	220	230	230	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>関東産地に加え、西南暖地からの入荷が始まる。栃木、茨城、群馬は日照不足と乾燥の影響で生育がやや遅れぎみである。高知の生育は概ね順調である。 入荷量は多かった前年をわずかに下回り、価格は安かった前年をかなり下回る見込み。</p>					
ト マ ト	16年	6,028	391	316	360	557	千葉 23%
	17年	6,399	328	433	279	312	茨城 21%
	18年	7,100	343	440	333	274	青森 13%
	19年	5,817	428	357	443	507	福島 11%
	20年	6,327	373	444	394	302	(愛知産比率 6%)
	5ヵ年平均	6,334	371	401	360	384	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	21年見通し	6,400	350	350	340	360	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>東北産地は終盤を迎え、関東産地からの入荷が中心となる。千葉の生育は概ね順調。茨城は概ね順調であるが、一部で軟弱徒長や芯どまりが見られる。青森、福島は冷え込みで着色が遅れている。 入荷量は前年並みで、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>					
ミ ニ ト マ ト	16年	1,105	674	644	672	710	茨城 25%
	17年	1,090	602	693	589	549	愛知 14%
	18年	1,146	734	950	792	530	北海道 13%
	19年	1,159	717	663	728	761	千葉 13%
	20年	1,263	618	608	708	549	(愛知産比率 14%)
	5ヵ年平均	1,153	669	710	699	619	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	21年見通し	1,250	620	630	640	600	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>北海道は終盤を迎え、関東産地と愛知からの入荷が増えてくる。茨城の生育は9月の好天で回復しつつある。愛知はやや生育が遅れぎみであるが、回復しつつある。 入荷量は前年並みで、価格は前年並みの見込み。</p>					

名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量 = トン、卸売価格 = 円 / kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ピーマン	16年	454	562	372	569	736	岩手 32%
	17年	596	282	261	278	305	茨城 32%
	18年	563	289	347	315	235	北海道 15%
	19年	510	352	330	351	375	鹿児島 6%
	20年	524	306	257	348	313	(愛知産比率 0%)
マン	5カ年平均	529	350	311	364	379	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	21年見通し	520	330	330	330	330	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地が入れ替わり、岩手、茨城が中心。夏の天候不順の影響も一段落して、順調な出荷が見込まれる。 入荷量は前年並みで、価格は前年をかなり上回る見込み。</p>					
ばいしょ	16年	4,074	95	89	96	101	北海道 100%
	17年	3,693	87	88	86	87	青森 0%
	18年	3,632	90	95	90	86	愛知 0%
	19年	3,553	74	74	71	76	
	20年	3,516	74	74	76	72	(愛知産比率 0%)
いしょ	5カ年平均	3,694	84	84	84	85	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	21年見通し	3,400	90	100	90	80	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地は北海道。不作だが巨大産地であるため、少量の安定出荷が続く。小玉傾向で3L~2Lが少なく、Mサイズが中心に。 入荷量は前年をやや下回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。</p>					
たまねぎ	16年	6,012	76	81	75	74	北海道 97%
	17年	5,548	72	76	72	69	中国 1%
	18年	5,367	79	85	76	75	佐賀 1%
	19年	6,070	61	62	60	62	徳島 1%
	20年	6,034	69	73	67	67	
ねぎ	5カ年平均	5,806	71	75	70	69	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	21年見通し	5,800	85	90	85	80	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地は北海道中心。8~9月の分の出荷遅れ分が今月に入り、数量は平年並みの見込み。小玉傾向。 入荷量は前年をやや下回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。</p>					

東京都中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ピーマン	16年	1,709	534	335	571	741	茨城 68%
	17年	2,079	232	221	212	263	岩手 16%
	18年	2,191	249	317	236	205	福島 5%
	19年	2,054	317	289	311	357	青森 5%
	20年	2,139	285	245	356	265	(愛知産比率 -%)
マ	5カ年平均	2,034	315	280	328	350	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	21年見通し	2,000	260	220	270	290	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		前月に引き続き茨城と東北産地中心の入荷となる。茨城の生育は順調で、品質・肥大とも良好である。東北産地は終盤を迎えるなか、岩手、福島は冷え込みが強く出荷量は平年を下回る見込み。 入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年をかなり下回る見込み。					
ばれいしょ	16年	7,712	104	104	104	105	北海道 99%
	17年	6,847	102	108	101	97	青森 1%
	18年	7,078	109	112	108	108	
	19年	8,536	84	81	85	86	
	20年	8,133	93	94	94	92	(愛知産比率 0%)
い	5カ年平均	7,661	98	99	98	97	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	21年見通し	7,400	110	120	95	95	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		北海道からの入荷が中心となる。北海道の生育は順調であるが、天候不順の影響により小玉傾向である。 入荷量は前年をかなり下回り、価格は安かった前年を大幅に上回る見込み。					
たまねぎ	16年	11,608	83	83	82	84	北海道 96%
	17年	10,545	85	87	85	83	中国 3%
	18年	10,312	88	89	88	87	
	19年	12,137	68	67	68	69	
	20年	11,484	79	80	80	78	(愛知産比率 0%)
ね	5カ年平均	11,217	80	81	80	80	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	21年見通し	11,000	90	100	85	85	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		北海道からの入荷が中心となる。生育は概ね順調で、10月中旬から中晩生種に切り替わる。肥大についてはL中心となり平年より若干小ぶりである。 入荷量は前年をやや下回り、価格は前年をかなり上回る見込み。					

名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量 = トン、卸売価格 = 円 / kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
果実計	16年	17,043	247	265	243	233	三重 17%
	17年	17,472	211	240	209	189	フィリピン 13%
	18年	14,791	261	276	253	255	長野 13%
	19年	15,183	271	300	264	249	和歌山 12%
	20年	15,873	233	244	235	221	
	5カ年平均	16,072	244	-	-	-	
	21年見通し	15,800	230	-	-	-	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>露地みかん、柿など秋の果実が本格的に出回る。夏の天候不順、日照不足の影響から前月に引き続き小玉傾向。 みかん、かきは豊作が見込まれるが、消費が低迷していることから低価格傾向。 入荷量、価格ともに前年並みとなる見込み。</p>					
みかん	16年	5,572	192	223	184	176	三重 28%
	17年	4,932	163	212	160	134	愛知 18%
	18年	3,948	247	285	233	234	佐賀 17%
	19年	4,447	216	272	212	179	宮崎 12%
	20年	4,845	185	195	180	182	
	5カ年平均	4,749	198	234	192	179	
	21年見通し	5,020	180	350	330	310	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>三重を中心に、熊本、静岡等から入荷。ハウスものは上旬で切り上がる。今年は表年で花多く、作柄良好で、酸の抜けが早いことが予想されるため、前倒して出荷される見込み。入荷は小玉中心。 入荷量は前年をやや上回り、価格は前年をわずかに下回る見込み。</p>					
かき	16年	2,788	248	231	251	258	長野 69%
	17年	2,799	184	179	175	195	愛知 9%
	18年	2,548	230	224	225	238	富山 6%
	19年	2,283	254	273	228	262	福島 5%
	20年	2,550	199	216	211	180	
	5カ年平均	2,594	222	223	218	226	
	21年見通し	2,640	210	260	250	240	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>平核無は和歌山中心で上旬にピークを迎える。次郎は三重、愛知を中心に入荷し、下旬に出荷のピークを迎える。L、2L中心で、病害虫もなく作柄は良好。 入荷量、価格とも前年をやや上回る見込み。</p>					

東京都中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
果実計	16年	53,080	248	263	248	235	和歌山 8%
	17年	60,739	196	214	195	185	熊本 8%
	18年	50,269	261	264	267	261	青森 8%
	19年	52,565	264	288	262	245	長崎 8%
	20年	56,692	229	239	229	220	(愛知産比率 1%)
	5カ年平均	54,669	238	-	-	-	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	21年見通し	58,000	230	-	-	-	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>みかん、かき、りんご中心に入荷。りんごは「つがる」に「ジョーゴルト」「ふじ」が加わっての入荷となる。各品種とも生産環境は安定しており順調な入荷が見込まれる。 果物全体の入荷量は前年をわずかに上回り、価格は前年並みと見込まれる。</p>					
みかん	16年	20,118	179	206	174	165	熊本 25%
	17年	19,845	145	185	149	125	長崎 24%
	18年	14,577	229	262	221	219	愛媛 20%
	19年	17,935	196	303	200	171	佐賀 17%
	20年	17,805	165	190	158	152	(愛知産比率 0%)
	5カ年平均	18,056	180	227	178	164	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	21年見通し	18,500	160	200	160	150	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>熊本中心に長崎、佐賀などの九州産地や愛媛などから「極早生」中心に入荷する。今年は表年にあたり各産地とも生産量が前年を上回るが、8月以降の降雨少なく食味良好も、小玉傾向。入荷量は前年やや上回り、価格は前年をやや下回ると見込まれる。</p>					
かき	16年	9,413	277	249	284	291	和歌山 40%
	17年	10,749	185	174	173	202	奈良 22%
	18年	9,102	245	222	238	266	新潟 12%
	19年	9,165	252	273	237	252	愛知 9%
	20年	10,049	219	231	224	208	(愛知産比率 9%)
	5カ年平均	9,696	234	228	229	242	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	21年見通し	9,500	230	250	230	220	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>和歌山中心に奈良、新潟、愛知から入荷する。前半は「刀根早生」後半からは「平核無」中心に入荷。各産地とも降雨量すくないが、作柄は概ね順調である。 入荷量は前年をやや下回り平年並みで、価格は前年をやや上回ると見込まれる。</p>					

切花・鉢花の10月の見通し

切花（地方卸売市場ヤマエ生花市場 9月25日現在）

単位：千本、円/本

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
輪 ぎ	実 績	16年	672	73	
		17年	872	41	
		18年	1,058	31	
		19年	924	57	
		20年	821	45	
	5ヶ年平均	869	48		
21年見通し	830	43			
概要	<p>愛知、長野を中心に入荷。長野は終盤に向かい、愛知の「神馬」「精興の誠」を主力に入荷。他に「浜大翔」「晃花の富士」等も出回る。生育は順調で品質も良い。価格は需要が少なく入荷が集中すると苦しい動きになる。</p>				
小 ぎ	実 績	16年	371	46	
		17年	481	23	
		18年	547	14	
		19年	581	38	
		20年	568	25	
	5ヶ年平均	510	28		
21年見通し	530	28			
概要	<p>愛知、長野、奈良等から入荷。長野、県内山間物は中旬には終盤に向かい、近郊産に移行する。価格は、前半は需要が少なく動きは鈍いと思われるが、後半は産地の移行期により少なめの入荷が予想されることから、活発な動きとなる。</p>				
カー ネ ー シ ョ ン	実 績	16年	570	46	
		17年	672	38	
		18年	582	41	
		19年	540	46	
		20年	592	38	
	5ヶ年平均	591	42		
21年見通し	600	40			
概要	<p>長野、北海道、愛知を中心に入荷。高冷地産は生育がやや遅れ気味で推移しているため、出荷は平年より多めで、愛知は生育順調も、出始めは短幹物が多い。価格は、婚礼需要により淡色系の引き合い強め、全体でも堅調な動きとなる。</p>				
か す み	実 績	16年	43	121	
		17年	56	118	
		18年	55	84	
		19年	64	104	
		20年	51	110	
	5ヶ年平均	54	107		
21年見通し	49	115			
概要	<p>北海道、福島、熊本、和歌山から入荷。北海道、福島は気温低下にともない中旬以降には終了する。暖地産の熊本、和歌山は下旬以降増加が見込まれるも、全体の入荷量は少なめの予想。価格は、少なめの入荷を反映し、堅調な動きとなる。</p>				

単位：千本、円/本

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
ゆ り	実績	16年	192	177	
		17年	211	182	
		18年	192	175	
		19年	201	189	
		20年	201	169	
	5ヶ年平均		199	178	
	21年見通し		200	165	
概要	てっぼうゆりは兵庫、岐阜の「新てっぼうゆり」が終了となり、高知の球根てっぼうゆりを主力として入荷。オリエンタル系は新潟、北海道、高知を中心に入荷、北海道は中旬以降減少に転じるが他産地は安定。品質は7月の長雨で葉焼け等の障害が多い。品種・数量ともに安定した入荷。価格は需要が少なく、苦しい動きとなろう。				
洋 ら ん	実績	16年	334	67	
		17年	383	55	
		18年	325	64	
		19年	341	75	
		20年	347	65	
	5ヶ年平均		346	65	
	21年見通し		345	67	
概要	愛知、宮崎、徳島、岐阜等と輸入物が入荷。国内産は、気温の低下とともに生育も順調。台湾産のオンシジウム・アンスリウムは台風の影響で少なめの入荷も徐々に回復。シンビジウムは輸入ものに加え国内産の入荷も始まる。前年並みの入荷が予想される。				
ば ら	実績	16年	441	66	
		17年	448	65	
		18年	498	59	
		19年	409	74	
		20年	454	68	
	5ヶ年平均		450	66	
	21年見通し		430	70	
概要	愛知、岐阜、三重、長野、和歌山等から入荷。長野は中旬以降減少となるが、和歌山等の暖地ものが増加する。品質も夜温の低下に伴い向上する。価格は、ブライダル需要により引き合いは強く堅調な動きとなろう。				
枝 も の	実績	16年	1,235	40	
		17年	1,141	37	
		18年	1,164	39	
		19年	1,199	40	
		20年	1,072	39	
	5ヶ年平均		1,162	39	
	21年見通し		1,100	40	
概要	静岡、愛知、岐阜、長野等から入荷。紅葉物のもみじ、どうだん、夏八ぜや実付き物は野ばら、柿、栗、さんざし等季節感のあるものが入荷。価格は、ディスプレイや花展等の需要もあり、動きは堅調。				

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
ドラセナ類	実績	16年	48,595	584	
		17年	36,926	729	
		18年	30,021	834	
		19年	35,751	686	
		20年	25,116	727	
	5ヶ年平均		35,282	698	
	21年見通し		20,000	650	
概要	<p>近年の相場下落から、生産量が減少気味のため、入荷量は減少か。秋冬物の入荷が始まり、8～10号鉢のヒロバ、ストリクタを中心に取引される。 昨年10月の主要県の入荷実績(金額ベース)は、1位愛知(52%)、2位鹿児島(20%)、3位沖縄(16%)となっている。</p>				
シャコバサボテン	実績	16年	79,416	470	
		17年	100,168	411	
		18年	92,895	420	
		19年	99,284	406	
		20年	77,832	385	
	5ヶ年平均		89,919	418	
	21年見通し		70,000	350	
概要	<p>主要産地である愛知県の生産量の減少と、関東産の山上げものが減少し、入荷量は全体として減少か。 昨年10月の主要県の入荷実績(金額ベース)は、1位愛知(68%)、2位埼玉(23%)、3位茨城(9%)となっている。</p>				
シクラメン	実績	16年	480,632	212	
		17年	663,154	192	
		18年	614,543	185	
		19年	569,393	185	
		20年	591,078	197	
	5ヶ年平均		583,760	193	
	21年見通し		590,000	190	
概要	<p>入荷量は昨年並みか。ポットもののガーデンシクラメンを中心に、5号鉢のF1ものは中旬以降からの入荷になりそう。 昨年10月の主要県の入荷実績(金額ベース)は、1位長野(37%)、2位愛知(33%)、3位北海道(9%)となっている。</p>				

単位：鉢、円/鉢

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
シンビジュウム	実績	16年	15,999	2,507	
		17年	14,461	2,372	
		18年	11,191	2,379	
		19年	11,683	1,802	
		20年	9,807	2,227	
	5ヶ年平均		12,628	2,279	
	21年見通し		11,000	2,000	
概要	<p>夏場の天候が良かったことから、早生品種の生育が順調で、入荷量は昨年より多そう。ただ、残暑となれば花の劣化も早いので、買い控えから厳しい相場になるかもしれない。昨年10月の主要県の入荷実績(金額ベース)は、1位愛知(55%)、2位高知(16%)、3位香川(9%)となっている。</p>				
カラコエ	実績	16年	53,137	201	
		17年	63,328	185	
		18年	62,828	186	
		19年	54,484	189	
		20年	61,475	202	
	5ヶ年平均		59,050	192	
	21年見通し		61,000	200	
概要	<p>入荷量は昨年並みで、4号鉢を中心に6号鉢の寄せ植えも入荷か。寄せ植えは安定した取引となりそう。昨年10月の主要県の入荷実績(金額ベース)は、1位埼玉(51%)、2位岐阜(38%)、3位茨城(5%)となっている。</p>				
パンジー	実績	16年	783,127	48	
		17年	085,881	48	
		18年	127,367	42	
		19年	654,950	54	
		20年	869,903	49	
	5ヶ年平均		904,246	48	
	21年見通し		900,000	47	
概要	<p>夏場の天候が良かったことから、生産ロスが少なく、入荷量は昨年より多そう。ただ、残暑となれば需給のバランスに影響が出るかもしれない。昨年10月の主要県の入荷実績(金額ベース)は、1位愛知(49%)、2位奈良・三重(12%)となっている。</p>				

主要農林水産物の輸出入実績(2009年)

1 輸入実績

品名	7月						7月までの累計					
	数量	前年比	金額	前年比	単価	前年比	数量	前年比	金額	前年比	単価	前年比
	トン	%	千円	%	円/kg	%	トン	%	千円	%	円/kg	%
野菜(生鮮・冷蔵)	38,178	98.5	3,702,362	91.1	97	92.5	332,569	97	31,034,074	89	93	91.3
トマト	238	155.7	58,056	139.9	244	89.9	976	118	276,467	99	283	84.1
たまねぎ	17,248	119.6	579,431	126.0	34	105.4	109,681	97	4,130,264	107	38	110.5
にんにく	1,942	85.8	200,487	93.6	103	109.1	11,351	100	924,830	83	81	83.1
ねぎ	3,071	84.5	361,834	124.3	118	147.1	17,792	92	1,770,026	83	99	90.3
ブロッコリー	2,847	74.8	401,234	61.6	141	82.4	17,316	85	2,879,541	84	166	98.8
結球キャベツ	221	54.4	6,177	47.8	28	88.0	11,025	336	390,302	294	35	87.5
にんじん・かぶ	4,116	82.4	225,275	72.7	55	88.2	23,590	79	1,274,387	58	54	73.3
ごぼう	3,984	80.9	202,079	98.7	51	121.9	20,116	80	857,252	62	43	76.9
えんどう	145	118.6	31,672	124.4	219	104.9	598	95	122,595	99	205	104.1
アスパラガス	170	69.4	103,123	61.7	607	88.9	6,427	107	3,301,835	94	514	87.8
まつたけ	134	88.8	490,045	82.2	3,662	92.6	134	88	494,913	82	3,690	92.6
しいたけ	119	80.7	32,412	73.9	273	91.7	2,616	93	601,571	88	230	94.5
かぼちゃ	40	96.4	5,409	138.7	136	143.9	81,607	103	4,760,734	79	58	77.1
果実(生鮮・乾燥)	191,756	104.5	21,579,787	95.5	113	91.4	1,275,476	113	144,386,964	101	113	89.5
バナナ	113,917	108.8	9,425,536	110.6	83	101.7	780,052	129	60,776,339	137	78	106.7
パイナップル	14,287	95.2	926,585	94.5	65	99.3	85,855	95	5,802,103	104	68	109.2
レモン	5,947	66.0	565,134	35.6	95	54.0	30,352	86	3,430,453	45	113	51.8
オレンジ	7,298	64.7	748,658	64.6	103	99.9	68,340	94	6,709,736	90	98	96.0
グレープフルーツ	25,916	113.9	1,485,872	101.7	57	89.3	141,980	96	12,831,929	95	90	99.0
メロン	1,803	123.3	144,764	93.0	80	75.5	20,468	93	2,141,242	84	105	90.0
ぶどう	103	284.0	32,717	197.8	317	69.6	5,295	106	832,562	80	157	75.3
キウイ	6,893	179.9	1,983,041	171.9	288	95.6	38,716	98	11,732,540	100	303	102.1
いちご	526	98.5	464,317	85.2	883	86.5	793	101	689,004	88	869	86.9
切花(生鮮・乾燥)	2,600	110.0	1,921,250	101.2	739	92.0	19,277	105	14,372,996	96	746	91.4
鳥獣肉類	147,340	89.7	63,407,865	79.3	430	88.4	962,812	95	414,311,123	87	430	91.4
牛肉(くず肉含む)	49,709	126.1	19,727,379	95.2	397	75.5	280,441	106	107,576,179	85	384	79.8
豚肉(くず肉含む)	62,033	85.9	32,513,155	85.3	524	99.3	430,606	91	225,652,986	90	524	99.5
鶏肉	26,676	59.9	5,744,659	39.4	215	65.8	196,639	87	50,576,959	81	257	92.4
水産物(生鮮・冷蔵・冷凍)	152,564	91.5	79,587,812	82.4	522	90.1	1,024,046	90	536,400,703	83	524	91.7
まぐろ類	16,596	113.3	13,758,566	99.8	829	88.1	124,559	95	114,944,604	85	923	89.6
さば・さんま・あじ・いわし	4,283	42.7	725,698	55.6	169	130.2	66,654	97	11,670,931	99	175	102.2

2 輸出実績

果実(生鮮・乾燥)	238	76.2	231,127	90.2	972	118.5	10,921	77	3,183,183	67	291	87.1
うんしゅうみかん	2	37.4	3,363	44.1	1,491	117.9	111	63	77,130	85	695	135.0
りんご	49	55.2	20,140	58.4	407	105.8	10,299	78	2,471,476	64	240	81.9
なし	-	-	-	-	-	-	12	19	6,238	18	525	96.6
野菜(生鮮・冷蔵・乾燥)	-	-	263,146	76.5	-	-	-	-	1,690,097	83	-	-
緑茶	158	84.8	279,476	79.3	1,769	93.5	1,094	121	1,922,407	107	1,758	88.3

資料 農林水産省大臣官房統計部「農林水産物輸出入情報」

関 連 指 数

項目 年月		消費者物価指数 (全国 平成17年 = 100)				
		総合	生鮮野菜	生鮮果物	肉類	魚介類
全 国	20年平均	101.7	104.7	102.4	106.9	105.5
	21年 3月	100.7	103.7	97.4	106.9	105.3
	4月	100.8	110.3	89.3	106.2	105.5
	5月	100.6	105.7	104.3	106.0	105.1
	6月	100.4	101.6	105.8	105.5	103.9
	7月	100.1	97.0	97.6	105.4	104.4
	愛 知 県	20年平均	101.7	100.9	101.6	104.8
21年 3月		101.3	97.2	97.3	102.6	104.5
4月		101.7	103.4	90.1	101.4	104.0
5月		101.3	100.0	101.3	101.5	105.4
6月		101.2	100.0	104.3	100.8	104.5
7月		100.6	96.9	100.4	101.3	104.0

項目 年月		農業物価指数 (平成17年 = 100)				
		農産物総合	米	野菜	果実	畜産物
全 国	20年平均	97.7	94.7	104.8	100.8	101.6
	21年 3月	103.7	98.4	122.2	84.8	96.0
	4月	97.4	98.7	108.1	76.7	97.6
	5月	94.2	98.6	100.7	82.4	100.0
	6月	93.9	98.4	98.8	101.0	101.2
	7月	92.1	98.5	92.4	105.1	100.8

資料 農林水産省大臣官房統計部「農業物価指数」

資料 全 国・総務省統計局「消費者物価指数月報」
愛知県・愛知県県民生活部「名古屋市消費者物価指数」

名 古 屋 市 小 売 価 格 (円)													
品目 単位 年月	うるち米 (単一品種、「コシカ り」以外)	キャベツ	はくさい	ねぎ	レタス	ばれいしょ	だいこん	にんじん	たまねぎ	きゅうり	トマト	生しいたけ	りんご(ふじ)
	5 kg	1 kg										100g	1kg
20年平均	2,212	150	170	637	420	272	143	331	191	558	605	208	494
21年 3月	2,243	152	169	511	471	276	123	271	194	666	699	190	410
4月	2,243	209	261	503	426	354	164	303	207	432	674	189	442
5月	2,240	236	229	572	380	302	142	306	180	401	603	184	467
6月	2,240	150	190	643	323	311	151	325	192	412	496	186	490
7月	2,240	140	161	626	305	320	147	361	199	399	559	184	524
品目 単位 年月	みかん	グレープフルーツ	オレンジ	いちご	バナナ	キウイフルーツ	緑茶(せん茶)	カーネーション	きく	バラ	豚肉(ロース)	牛肉(ロース)	まぐろ
	1 kg	100g	1 kg	100g	1 kg	100g	1本	100g	1本	100g	100g	100g	100g
20年平均	553	346	408	150	261	669	614	163	172	328	230	824	492
21年 3月	606	318	345	143	253	608	607	164	168	336	223	754	473
4月	-	306	338	122	266	605	611	158	166	326	223	732	461
5月	-	296	345	121	263	723	611	177	159	328	223	750	483
6月	-	296	358	-	266	640	600	160	164	318	223	721	477
7月	-	296	394	-	254	724	600	150	158	305	219	714	494

資料 総務省統計局「小売物価統計調査報告」



あいち農産物生産流通レポート 436
平成21年10月発行
農林水産部食育推進課
〒460-8501
名古屋市中区三の丸三丁目1番2号
電話 (052) 954-6417